

2014年2月28日
株式会社日立製作所
日立ブラジル社

カンピナス大学と共同でブラジルにおける将来の社会潮流を予測する 「きざしプロジェクト」を開始

社会イノベーション事業における新たなビジネス領域の発見をめざす

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)ならびに日立ブラジル社(Hitachi Brasil, Ltda/社長:池辺 和博)直轄の研究所である R&D ディビジョン(以下、ブラジル研究所)は、このたび、ブラジル連邦共和国(以下、ブラジル)のカンピナス大学(Universidade Estadual de Campinas/学長:José Tadeu Jorge)と共同で、ブラジルにおける将来の潮流(きざし)を予測する「きざしプロジェクト」を開始しました。このプロジェクトによって予測された将来の潮流をもとに、今後、日立の注力地域の一つであるブラジルにおける社会イノベーション事業での新たなビジネス領域の発見をめざします。

「きざしプロジェクト」で用いられる「きざし手法」は、その国の生活者による将来の価値観変化を捉え、社会潮流を予測することによって、新たなビジネス領域を探るための手法です。政治、経済、社会、技術(Politics, Economics, Society and Technology/以下、PEST)の視点で文献や Web を中心としたデスクトップリサーチを行い、PEST の時間的変化による相互の影響を考察し、将来像を導き出します。今回、この手法をブラジルに展開し、ブラジルのカンピナス大学と共同で「ブラジルのきざし」を導き出すためのプロジェクトを開始しました。主な活動は以下の通りです。

1. リサーチを通じてブラジルの将来動向を調査し、この結果を学生メンバーが中心となって議論します。議論を通じてメンバーの関心が高かったテーマを複数抽出し、これらの関係性をさらに深く議論します。こうして、将来、ブラジルのリーダーをめざす学生たちにとって関心の高いテーマ同士の有機的な関係を抽出し、抽象化することにより、将来の潮流を見つけ出します。
2. 見つけ出した将来の潮流をその分野の専門家にヒアリングし、その妥当性を検証します。さらに、予測した社会潮流をもとに、対象とするビジネス領域の「きざし」を抽出し、将来起こり得る現象として具現化し、新しいビジネスに活かしていきます。

ブラジル研究所では今回の活動により、真にブラジルに必要な技術・システムを見極め、事業拡大に取り組んでいきます。また、社会イノベーション事業への本格参入と既存事業のさらなる成長により、ブラジル社会の発展と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 デザイン本部 企画室 [担当:小平]
〒107-6323 東京都港区赤坂五丁目 3 番 1 号 赤坂 Biz タワー
電話 050-3135-4419 (直通)

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
